

上牧町社会福祉協議会はみなさんと一緒に福祉のまちづくりを推進しています



社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。昭和 26 年に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、全国の市町村に設置され、それぞれの市町村で、住民や福祉関係団体・行政等と協力しながら福祉のまちづくりを目指した活動を行っています。

上牧町社会福祉協議会は昭和 63 年に社会福祉法人格を取得し、小地域ネットワーク活動やボランティア活動の支援などをおして上牧町の地域福祉推進に取り組んでいます。



社会福祉協議会会員募集のお願い

上牧町社会福祉協議会では、社会福祉協議会の事業に賛同し資金面から支えていただける方に会費の納入をお願いしています。上牧町の地域福祉活動を充実させるため、一人でも多くの方に会費を納入いただきますよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

会費の使いみち

みなさまからいただいた会費は、ボランティア活動や小地域ネットワーク活動の支援に活用されます。

※会費は年間を通じて募集しています。

会費の種類

会費には、一般会費と賛助会費の 2 種類があります。金額は下記のとおりですが複数口納入いただくことも可能です。

※2,000 円を超えるご協力には税法上の優遇措置があります。

（個人）所得税に係る「寄附金控除」の対象になります。

（法人）一般の寄附金とは別枠で損金の額に算入することができます。

一般会費：1 口 500 円（年額） 賛助会費：1 口 10,000 円（年額）

第 2 次上牧町地域福祉活動計画

～マッキーアクションプラン～

【概要版】

発行 社会福祉法人 上牧町社会福祉協議会
〒639-0214
奈良県北葛城郡上牧町上牧 3245-1
TEL 0745-76-6098
FAX 0745-79-0895
HP <http://kamishakyo.web.fc2.com/>
E-mail kamishakyo@gmail.com
発行年月日 平成 28 年 3 月 31 日



第 2 次上牧町地域福祉活動計画

（マッキーアクションプラン）

平成 28 年度～平成 32 年度

【概要版】



人と人が手を取り合って
支えあう福祉のまちづくり

上牧町地域福祉活動計画策定委員会

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画と地域福祉計画

地域福祉活動計画とは、社会福祉協議会等が呼びかけて、地域住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業を営む者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画と整理できます。これに対して地域福祉計画は、行政の策定する計画で、上牧町における地域福祉推進のための理念や地域福祉課題を明らかにし地域福祉の基盤整備を定めた計画です。

地域福祉活動計画と行政が作成する地域福祉計画は車の両輪であり、相互に連携を図りながら上牧町の地域福祉を推進していきます。



地域福祉への参画

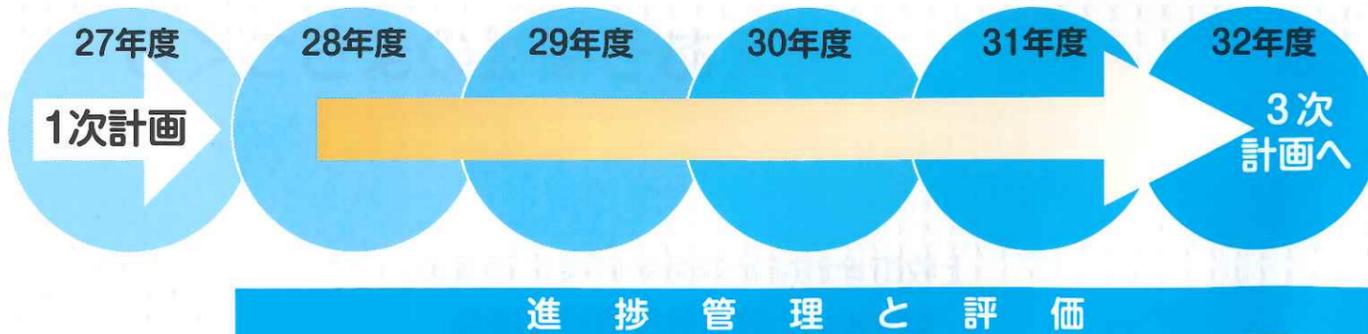
地域福祉活動計画において、これからの地域福祉活動をどのように広げていくのかを考えるためには、多様な人・団体・組織が参画し、同じテーブルで話し合うことが重要です。参画とは、単にその場にいるだけではなく、一緒に企画や取り組みに加わる事を意味します。今回の計画策定過程では、地域福祉に関わる人材をいかに発掘していくのかという課題に対して、策定委員発のプロジェクトとして「かんまきタウンカレッジ」という新たな取り組みが生まれました。

社会福祉協議会の役割

地域福祉活動計画は、計画の中で示された内容に対する評価だけに着目するのではなく、策定過程においてどのような話し合いを持ち進めていったのか、そしてそれらを通じて、これまでの関係性がいかに強まり、また新しい出会いが生まれたのかについても評価しながら策定・推進していくことが求められます。そして、よりよい計画策定・推進のためには、多様な団体・組織が同じテーブルに集い、話し合える場（プラットフォーム）づくりが上牧町社会福祉協議会の役割となります。

計画の期間

第2次地域福祉活動計画は平成28年4月1日から平成33年3月31日までの5カ年を対象としています。社会情勢の変化等に伴う計画の見直しについては、必要に応じて実施します。



基本理念 ～人と人が手を取り合って支えあう福祉のまちづくり～

第2次地域福祉活動計画は、第1次地域福祉活動計画の成果や課題を踏まえて、上牧町に住むすべての住民が互いに認め合い一人ひとりの暮らしの困りごとを住民共通の課題とし、住民同士が地域の中で共に支えあいながら住み慣れた上牧町で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていきます。特に、住民同士が互いに顔の見える関係を築き、支えあっていくために自治会区等の身近な地域を基盤と位置づけ取り組んでいきます。

また、上牧町をより良くしたいという住民の思いを結集し、「人と人が手を取り合って支えあう福祉のまちづくり」を実現するために住民、ボランティア、NPO 団体や福祉サービス関係者、行政、社会福祉協議会などが協働して取り組んでいきます。

第2次上牧町地域福祉活動計画(平成28年度～平成32年度)
「人と人が手を取り合って支えあう福祉のまちづくり」



第1次上牧町地域福祉活動計画(平成25年度～平成27年度)
「つながりで紡ぐ福祉のまちづくり」

見えてきた課題

地域福祉活動計画の策定に際しては、地域で活動するボランティアや様々な団体・組織へのヒアリングで地域福祉実践者の声を集め、その声をもとに策定委員会で上牧町の地域福祉課題について議論しました。

①グループ：テーマ「高齢者を巡るトラブル」

上牧町でも万引きや徘徊、交通事故被害、特殊詐欺被害、孤独死等高齢者をめぐるトラブルが起っています。特殊詐欺被害防止のため注意を促そうと戸別訪問しても出て来ない家庭や啓発の場に参加されない人も多く、地域のつながりが希薄化しています。また、近隣トラブルも起っています。お互いの顔を知っていればトラブルにはならなかったようなこともあり、SOSをどう出しやすくするか、どうキャッチするかが今後の課題であると話し合われました。

上牧町のバリアフリーについても移動の難しさがあり、自力で行きたいところに行けないという問題も起っています。問題を解消し住みやすいまちにしていきたいとの思いが共有されました。

②グループ：テーマ「地域の気になること」

地域の気になることとして、近所のスーパーの撤退が挙げられました。スーパーは人とお話できるつどいの場であったこともあり、それがなくなってしまったことで人と出会う場が減少しました。また、公園デビューがなかなかできない母親が多くなっており、母親のつながり力の低下も挙げられました。母親だけでなく、さまざまな年齢の子どもが交流する機会が減少しており、子どものつながり力の低下を懸念する意見がありました。

このようにつながりが薄れてきている現状から、小地域ネットワーク活動や地域内での情報共有、誰もがつどえる場づくりが必要ではないかと話し合われました。



計画の体系

基本理念

人と人が手を取り合って支えあう福祉のまちづくり

基本目標

活動目標

実施計画

社会福祉協議会の基盤整備

基本目標1
地域で顔の見える
関係づくり

(1)自治会区を基盤とした小地域
ネットワーク活動の拡充

(2)支えあい活動の充実

①小地域ネットワークの組織化

②小地域ネットワークの充実

①地域にあった活動づくり

②災害にも強いまちづくり

基本目標2
だれもが地域に
参加できる
仕組みづくり

(1)多様な参加の機会づくり

(2)学びの機会提供

(3)地域活動者への支援

①多様な人のつどえる場づくり

①学童期を対象とした福祉教育

②活動のきっかけへと結びつく
学習会

①ボランティア活動支援の強化

②活動者の横のつながり支援

基本目標3
暮らしの課題を
受けとめる
相談体制の強化

(1)ニーズ把握の充実

(2)関係機関の連携強化

①地域を基盤としたニーズ発見の
仕組みづくり

②課題を漏らさず受けとめる体制づくり

①関係機関との協議の場づくり

地域福祉を推進するための環境整備

住民の参加を得ながら地域福祉活動計画を推進していけるように、地域福祉推進の中核的機関として社会福祉協議会も下記の基盤整備等に取り組みます。

①財務基盤の強化

②職員の専門性向上と組織力の向上

③理事・評議員会の充実

④事業運営の透明性の向上

⑤他の社会福祉法人との連携・協働

基本目標Ⅰ 地域で顔の見える関係づくり

★…新規事業および重点事業

活動目標(1) 自治会区を基盤とした小地域ネットワークの拡充

- 身近な地域で福祉課題に取り組む住民が主役の組織として「小地域ネットワーク」を町内全ての自治会区での設置をめざし支援します。
- 小地域ネットワーク連絡会等を通して、活動者が情報交換し学び合うことで活動の基盤を強めていきます。

《実施計画》

①小地域ネットワークの組織化

- i. 住民座談会の開催
- ★ii. 小地域ネットワーク組織化支援

②小地域ネットワークの充実

- i. 小地域ネットワーク連絡会の開催
- ii. 各地域の中で見えてきた課題共有

活動目標(2) 支えあい活動の充実

- 身近な地域で住民の気づきから福祉課題に対する取り組みに結びつく地域の実情や特性に合った活動づくりを支援します。
- 住民の気にかける関係が災害時にも発揮できるよう平時から災害に関係する取り組みを行います。



《実施計画》

①地域にあった活動づくり

- i. サロン等の居場所づくり
- ★ii. 見守り・助け合いの活動づくり

②災害にも強いまちづくり

- i. 災害時対応訓練の実施
- ii. 行政・自主防災組織との連携

基本目標Ⅱ だれもが地域に参加できる仕組みづくり

活動目標(1) 多様な参加の機会づくり

- 就労継続支援事業「ぷらっと」を拠点として地域における障害者への理解を促進します。
- 多様な人が地域で役割を持ってまちづくりに参画するため、地域と関わりを持つ機会づくりを進めます。
- 悩みを持つ人が地域の中で孤立することのないよう、仲間づくりと居場所づくりを進めます。

《実施計画》

①多様な人のつどえる場づくり

- ★i. 当事者の社会参加を通じた理解の促進
- ii. 同じ悩みを持つ人の仲間づくり
- ★iii. 子どもの居場所づくり

活動目標(2) 学びの機会提供

- 学童期を対象とした福祉教育プログラムを提供することで福祉やボランティア活動への親しみを育てる機会を作ります。
- 住民が福祉活動に関心を持ち活動へと結びつくきっかけとなるよう学びの機会の提供や情報発信の充実を図ります。

《実施計画》

①学童期を対象とした福祉教育

- i. 福祉教育プログラムの提供

②活動のきっかけへと結びつく学習会

- ★i. かんまきタウンカレッジの開催
- ii. ボランティア講座の開催
- iii. 社協まつりの開催

活動目標(3) 地域活動者への支援

- ボランティア活動に関心のある人が活動に参加できるよう支援します。
- 活動者の悩みや気づきに寄り添い、より活動を深められるような支援をします。
- 福祉ボランティアに限らず、広くボランティア活動者がつながれるような機会を提供します。



《実施計画》

①ボランティア活動支援の強化

- i. ボランティアコーディネート機能の強化
- ii. スキルアップ講座の開催
- iii. 「ちょボラ」等の情報発信の充実

②活動者の横のつながり支援

- i. 上牧町ボランティア連絡協議会への支援
- ★ii. 町内ボランティアのネットワーク化

基本目標Ⅲ 暮らしの課題を受けとめる相談体制の強化

活動目標(1) ニーズ把握の充実

- 小地域ネットワーク等の身近な地域での活動と連携することで暮らしの困りごとをいち早く発見します。
- 社協の総合相談機能を強化することで発見した暮らしの困りごとを漏らさず受けとめます。



《実施計画》

①地域を基盤としたニーズ発見の仕組みづくり

- ★i. 小地域ネットワーク等と連携したニーズキャッチ

②課題を漏らさず受けとめる体制づくり

- i. 総合相談機能の強化
- ii. サービス調整会議の開催による社協内連携

活動目標(2) 関係機関の連携強化

- 関係機関との情報共有や協議の場をつくり、住民の暮らしの困りごとに対応します。

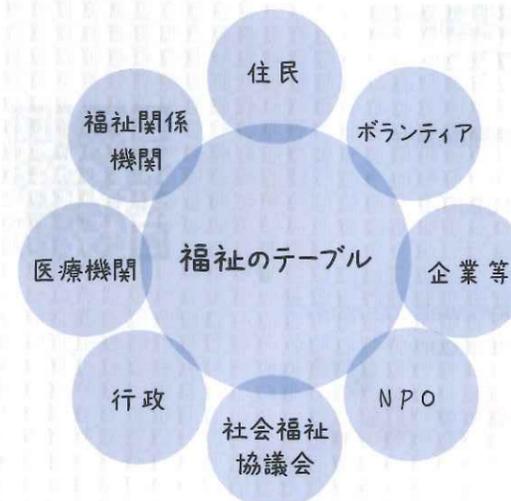
《実施計画》

①関係機関との協議の場づくり

- i. 関係機関との連携
- ★ii. 専門機関との調整会議の開催

推進に向けて

社会福祉協議会では地域福祉推進に取り組むため、地域課題の解決に向けた情報交換や情報共有と公的サービス・インフォーマルサービスの枠を越えた総合的なサービスのあり方の検討を行う場を提供するとともに、各種団体や機関等とのネットワーク化を図ります。



- ・情報共有
- ・ネットワーク化
- ・課題を漏らさないサービス提供